

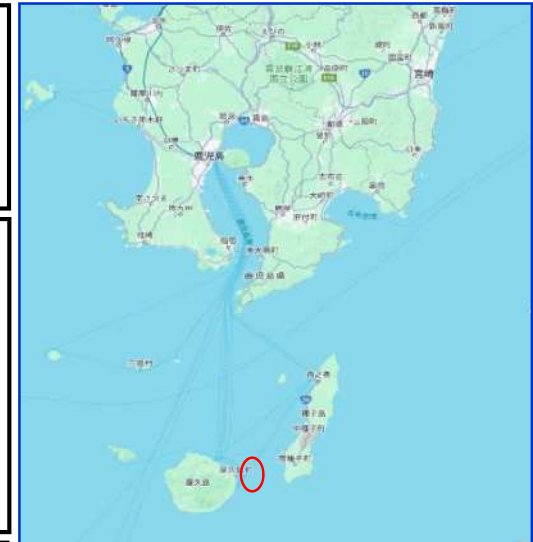
## 鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの事故について

### 概要

- 令和5年11月29日1440頃
- 鹿児島県屋久島東側の沖合にて、訓練中の米空軍横田基地所属のCV-22オスプレイ1機が墜落
- 12月5日、米軍は乗員8名全員について死亡を認定
- 飛行経路は岩国基地～嘉手納基地

### 現地における自衛隊及び海上保安庁の対応

- 11月29日 1447頃、海上保安庁第十管区海上保安本部が巡視船・航空機を発動
- 11月29日 1458以降、陸海空自衛隊の航空機等が搜索救難活動を開始
- 11月29日 1600頃、十管区所属の回転翼機が現場海域に到着し、機体の残骸等を確認
- 11月30日 松本防衛大臣政務官が屋久島町長、屋久島漁業組合長、鹿児島県知事を往訪し、お詫び及び事故の説明を実施
  - ※その他、現地調整所において必要な調整を実施
  - ※12月5日、米軍は搜索救助活動を終了することを決定（搜索回収へ移行）



### 日米の主なやりとり

- 11月30日 大和防衛省地方協力局長⇒ラップ在日米軍司令官
- 11月30日 上川外務大臣⇒エマニュエル駐日米国大使
- 11月30日 木原防衛大臣⇒ラップ在日米軍司令官へ要請  
国内に配備されたオスプレイについて、搜索救助活動を除き、飛行にかかる安全が確認されてから、飛行を行うよう要請するとともに早期の情報提供を求めた
- 12月 5日 バイデン大統領及びオースティン国防長官から、乗員の死亡を悼むとともに、我が国の海上保安庁、自衛隊、地元の方々による搜索救助活動への支援に謝意を表すメッセージを发出  
(米国東部時間)  
(日本時間 6日)
- 12月 6日 岸田総理⇒バイデン大統領  
上川外務大臣⇒プリンケン国务長官及びエマニュエル駐日大使  
木原防衛大臣⇒オースティン国防長官  
秋葉国家安全保障局長⇒エマニュエル駐日大使 それぞれ弔意を表す書簡を发出
- 米側からの説明  
12月 1日・CV-22の飛行を行っていない  
・日本に配備されている全てのオスプレイは、徹底的かつ慎重な整備と安全点検を行った上で運用  
・事故に関する可能な限り詳細な情報を透明性をもって共有  
12月 4日・全てのオスプレイの部隊は、CV-22の事故をしっかりと踏まえた上で、安全点検及び予防的な整備を継続的に行っている  
※陸自オスプレイは、事故の状況が明らかになるまでの当面の間、飛行を見合わせることにしている



(出典：米国防総省HP)

全幅	25.8 m
全長	17.4 m
全高	6.73 m
最大離陸重量	約24,000 kg
最大巡航速度	約446 km/h
乗務員+搭乗者数	4名+24名

(出典：米空軍ファクトシート)

(お知らせ)

※ 数値等は全て速報値のため、  
今後変更される可能性があります。

### 鹿児島県屋久島沖における米軍オスプレイの搜索活動について

令和5年12月5日  
防衛省

<p><b>概要</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 令和5年11月29日(水)1440頃、鹿児島県屋久島沖の洋上において、<b>在日米軍所属のオスプレイが墜落した旨の通報あり。</b></li> <li>○ オスプレイの乗組員が行方不明となっていることから、29日(水)1458以降、<b>自衛隊の航空機、艦艇、地上部隊が活動中。</b></li> </ul>
<p><b>活動部隊</b></p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 陸上自衛隊第8師団司令部(北熊本)、第42即応機動連隊(北熊本)、第12普通科連隊(国分)、西部方面航空隊(高遊原)</li> <li>○ 海上自衛隊第1航空群(鹿屋)、第212教育航空隊(鹿屋)、第22航空群(大村)、第8護衛隊(佐世保)、第12護衛隊(呉)、第13護衛隊(佐世保)、第1掃海隊(横須賀)、第2掃海隊(佐世保)、第3掃海隊(呉)、第43掃海隊(下関)、佐世保警備隊(佐世保)</li> <li>○ 航空自衛隊西部航空方面隊(春日)、新田原救難隊(新田原)、第603飛行隊(那覇)</li> </ul>
<p><b>連絡調整所</b></p>	<p>【現地連絡調整所(旧屋久島町役場)】 内部部局(地方協力局)、統合幕僚監部、九州・沖縄防衛局及び各部隊の連絡員による関係機関との調整等を実施</p>
<p><b>活動実績</b></p>	<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1;"> <p><b>【自衛隊】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでに、海自艦艇により機体の一部らしきもの及び救命いかだ等を揚収</li> <li>○ 5日(火)1600時点の活動実績</li> </ul> <p>&lt;固定翼&gt; U-125A×1機</p> <p>&lt;艦艇4隻&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 護衛艦 「きりさめ」</li> <li>・ 掃海母艦 「うらが」</li> <li>・ 掃海艦 「ひらど」</li> <li>・ 掃海艇 「とよしま」</li> </ul> <p>&lt;地上部隊&gt; 人員約110名</p> </div> <div style="flex: 1;"> </div> </div> <p><b>【海上保安庁】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5日(火)1600時点の活動実績</li> <li>・ 巡視船艇×3隻、航空機×1機</li> </ul>